

# 作業療法士養成校における社会人学生の現状と期待される役割

## : 3年制専門学校教員に対する調査結果から

平成リハビリテーション専門学校 作業療法学科専任教員 伊勢将樹

キーワード：作業療法士養成専門学校、社会人学生、役割理論

### 【背景と目的】

看護専門学校に在籍する社会人学生の学力と社会人基礎力は高い傾向にあると言われているが、作業療法士養成専門学校（以下：OT 専門学校）の社会人学生の実態は明らかにされていない。ジョージ・ハーバート・ミードが提唱した役割理論を基に、社会人学生のアイデンティティ構成を仮説した（右図参照）。その仮説を検証することを目的に、OT 専門学校の社会人学生に対する意識調査を実施した。

### 【対象と方法】

日本作業療法士協会に登録している3年制昼間部専門学校56校に在籍する専任教員に対し、社会人学生の実態に関するアンケート調査を実施した。また、社会人割合の多いOT 専門学校（以下：高群）と少ないOT 専門学校

（以下：低群）に分類し、アンケート結果を得点化し、2群間の平均点の差の比較に t 検定を用い、社会人学生に対する意識の違いを検証した。倫理的配慮として、本調査の目的、方法を書面で説明し、同意を得た。

### 【結果】

回収率は管理職が48.2%（27/56名）、専任教員が22.3%（100/448名）であった。アンケートの基礎集計結果より、社会人学生の印象は、学習意欲や態度に好印象を有しており、社会人基礎力では礼節や接遇、規律が備わっていた。低群と高群での比較分析に関しては、結果の一部を以下に示す。

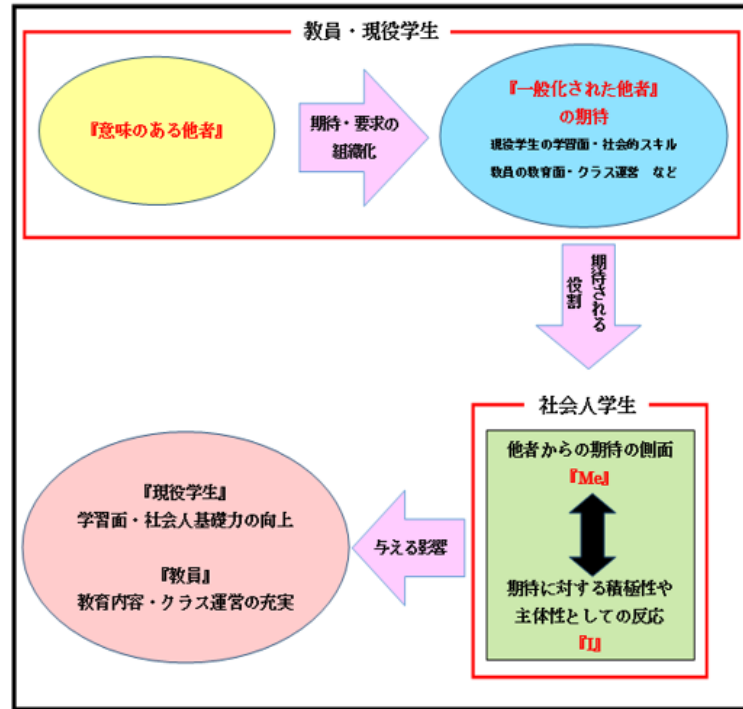


図. 社会人学生のアイデンティティ構成

#### 分析結果①: 社会人学生の学習面

	社会人割合低群	社会人割合高群
成績が良い	1.98	2.04
文章力が高い	1.73	1.89
知識レベルが高い	1.77	1.80
実技の習得が早い	1.40	1.50
目的意識をもって学べる	2.28	2.52
主体性をもって学べる	2.09	2.26
真面目に取り組める	2.23	2.37
学習の効率が高い	1.72	1.70
指導に対して柔軟である	1.40	1.41

⇒ 専任教員全体の意識が強い傾向にある

#### 分析結果②: 社会人学生の人社会人基礎力

	社会人割合低群	社会人割合高群
挨拶をしっかりとできる	2.20	2.28
目上の人に敬語を使う	2.35	2.33
クラスメートとよく話す	1.74	1.78
教員とよく話す	1.93	1.78
コミュニケーション力に長けている	1.87	1.85
クラスをまとめる存在である	1.30	1.72
自己主張が強い	1.63	1.50
空気を読めることができる	1.89	2.00
要領が良い	1.74	1.72
約束を守ることができる	1.96	2.33

⇒ 社会人割合高群で強く感じている

#### 分析結果③: 社会人学生に期待する役割

	社会人割合低群	社会人割合高群
挨拶	2.15	2.04
目上の人との接し方	2.31	2.11
コミュニケーション力の向上	1.87	1.93
まとめ方	1.74	1.63
自己主張	1.41	1.41
空気を読む	1.87	1.50
要領の良さ	1.56	1.63
約束を守ること	2.17	2.00
自立心の向上	2.07	2.02

⇒ 社会人学生により現役学生の社会人基礎力の底上げを期待している

#### 分析結果④: 現役学生との関わり方

	社会人割合低群	社会人割合高群
授業ではよくあて	1.96	1.74
グループワークではよくリーダー的役割を託す	1.83	1.54
頼みごとをよく依頼する	1.91	1.63
よくコミュニケーションをとる	2.07	1.89

⇒ 低群の専門学校には優秀な現役学生が在籍していると推察される

#### 分析結果⑤: 社会人学生に期待する役割

	社会人割合低群	社会人割合高群
教員との積極的な関わり	2.19	1.93
授業内容に対して積極的に質問する	2.17	2.22
クラスをまとめるリーダーシップ	1.91	1.93

⇒ 低群の教員は社会人学生に積極的な関わりを求めている

#### 分析結果⑥: 教員に対する社会人学生の影響

	社会人割合低群	社会人割合高群
教育方法	1.69	1.89
教育内容	1.76	1.79
現役学生との接し方	1.79	1.32
クラス運営	1.93	1.82

⇒ 低群の教員は社会人学生の現役学生との接し方を参考にして

### 【考察】

OT 専門学校の教員は、社会人学生に対して、学習面と社会人基礎力において好印象を有しており、さらに現役学生の学習面と社会人基礎力を向上させる役割を期待していた。社会人学生はその期待に応えるため、役割を取得することにより、更なる成長につながっていることが推察される。その結果、現役学生の学習面や教員の教育実践向上、円滑なクラス運営などにも影響を与えていることが考えられる。